

安全報告書 2025



京都月後鉄道

WILLER  TRAINS

I. ごあいさつ

平素は京都丹後鉄道をご利用いただき、誠に有難うございます。

当社は、輸送の安全を最優先事項に位置づけ、お客様に安心・信頼してご利用いただけるよう努めております。

2025年度は、新しい鉄道事業再構築実施計画の下での最初の年にあたり10年計画に基づいた鉄道施設の着実な維持修繕並びに更新・改良に加え、安全教育の拡充に努めハード・ソフト両面から安全対策に努めました。

具体的には、ハード面では、2023年度に宮舞線の下由里踏切で発生した踏切障害事故を受け、2024年度より遮断機の無い第3種踏切、第4種踏切から第1種踏切への格上げを進めて参りましたが、2025年度には上油江踏切の第1種化を実施しました。また、ヒューマンエラーの原因として長年の課題となっておりました宮津線における継電連動装置をはじめとした閉そく装置の更新に着手し、網野～久美浜間の継電器の更新を実施しました。

また、ソフト面では、外部講師を活用したヒューマンファクター研修を初めて開催し、安全に向けた企業風土の強化に努めました。

引き続き、社員に対する安全教育を徹底するとともに、北近畿タンゴ鉄道株式会社と連携した鉄道施設、車両等の更なる安全性の向上に取り組み、皆様に信頼される鉄道を目指して参ります。

本誌は、2025年度の当社における安全の取り組みをとりまとめた報告書です。

ぜひご一読いただき、ご意見やご助言をいただければ幸いです。



WILLER TRAINS 株式会社
代表取締役 飯島 徹

Ⅱ. 安全に関する基本方針と目標・重点実施施策

輸送の安全確保が最大の使命との意識を持ち、「安全方針」「行動規範」を掲げ、社長、役員及び社員一丸となり輸送の安全確保に取り組みます。

1. 安全方針

私たちは法令・規程を遵守し、輸送の安全を最優先するとともに、さらなる安全性の向上を目指して、継続的な改善に努め、安全で安定した輸送を提供し、お客様に安心・信頼される鉄道を築きあげます。

2. 行動規範

社長、役員及び社員の行動指針として「安全に係る行動規範」を定め、これに基づき行動します。

- (1) 一致協力して輸送の安全確保に努めます。
- (2) 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともに、これを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- (3) 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めます。
- (4) 職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取り扱いをします。
- (5) 事故、事故の恐れのある事態、災害その他輸送の安全確保に支障を及ぼす恐れのある事態が発生したときは、人命救助を最も優先に行動し、速やかに安全適切な処置をとります。
- (6) 情報はもれなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
- (7) 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦します。

3. 2026年度 安全目標

- (1) 鉄道運転事故、インシデント、責任事故を発生させない。
- (2) 輸送障害の部内原因を人的要素は前年度の20%削減、設備関連は前年度数以下に削減する。

4. 2026年度 重点実施施策

重点実施施策を掲げ、安全目標の達成に向けてハード面とソフト面から下記の取り組みを行います。

5. ハード面の取り組み

国、京都府、兵庫県、沿線自治体からの支援を得て、北近畿タンゴ鉄道株式会社が行う設備投資の設計及び施工管理等を受託して、施設・車両の整備や踏切事故防止対策として踏切保安設備の整備等を図り保安度向上・安全性の向上を図ります。

[設備投資]

設 備	項 目	具 体 的 実 施 内 容
線路設備	PC マクラギ化	宮津線 西舞鶴～四所間 網野～タリヶ浦木津温泉～小天橋間 コウノトリの郷～豊岡間 合計 1,201本
	合成橋マクラギ化	宮津線 由良川橋りょう 221本
	踏切道改良	鯨踏切(京丹後大宮構内) 1踏切
	道床砕石化	西舞鶴～四所間 4k687.05m～4k705.0m 18.0m 宮津～天橋立間 26k363.8m～26k443.8m 80.0m 28k241.0m～28k253.0m 12.0m 28k377.0m～28k392.0m 15.0m 28k427.0m～28k441.0m 14.0m 峰山～網野間 51k112.0m～51k126.0m 14.0m 51k185.0m～51k203.0m 18.0m 54k705.0m～54k734.0m 29.0m 合計 200m
	鉄桁ペイント塗装 (フッ素塗装)	福田川橋りょう(網野駅構内) 1 橋りょう
	トンネル改良(覆工補強)	普甲トンネル(喜多～辛皮間) 楠祢寺トンネル(西舞鶴・四所間) 長尾トンネル(丹後由良・栗田間) 3 トンネル
	排水設備改良	排水溝新設 49k100m 付近(峰山～網野間) 護岸壁補強 大糸川橋りょう(峰山～網野間)
	踏切道改良(1 種化)	新山踏切 (京丹後大宮～峰山間) 1踏切
	レール交換	15k947.0m～16k384.1m 437.1m(丹後由良～栗田間)
	ホームこう上	網野駅
信号保安設備	軌道回路装置更新	宮福線 牧駅 インピーダンスボンド 15台
	継電連動装置更新	宮津線 峰山駅・小天橋駅 合計 2駅
	踏切保安設備更新	宮津線 四所～久美浜間 踏切遮断機 合計 30台
	遠方信号機更新	宮津線 峰山駅・小天橋駅 合計 2駅
	踏切道改良(1 種化)	宮津線 新山踏切 (京丹後大宮～峰山間) 1踏切
	通信ケーブル更新	宮津線 与謝野～網野間 11,200m
電路設備	電車線引留碍子更新	宮津線 宮津～天橋立間 16箇所 宮福線 宮津～福知山間 85箇所
	電気融雪器用絶縁変圧器更新	宮津線 宮津～天橋立間 8台 宮福線 宮津～荒河基地間 16台
車 両	新型車両更新	台枠、構体、電気、艤装工作図作成 部品デザイン監修

6. ソフト面の取り組み

(1) 安全文化の構築

- ① 報告の重要性和精度向上
 - ・事象発生時の迅速かつ正確な報告の徹底
 - ・ヒヤリハット・事故の芽の積極的な報告の促進と管理の徹底
 - ・報告事象に対する対策の迅速なフィードバック
- ② 発生事象の共有と対策の展開
 - ・発生事象の早期共有と安全対策(ソフト・ハード)への反映
 - ・安全対策委員会での共有および対策の水平展開
 - ・過去事例やデータの共有による委員会機能の充実
- ③ 運輸安全マネジメント制度の浸透
 - ・ガイドラインおよび安全管理規程の理解促進
 - ・ガイドラインに基づく取り組みの確実な実施
- ④ 安全意識の向上と部門間連携
 - ・部門間の情報交換・連携強化
 - ・ディスカッションを通じた安全意識の向上

(2) 運転関係係員の知識・技能の向上

- ① 教育・訓練の充実
 - ・規程・マニュアルの原理原則の理解促進と整備
 - ・添乗等による現場把握およびフォロー研修の充実
 - ・教育体系の見直しと仕組みの再構築
- ② 異常時対応力の強化
 - ・輸送障害・故障対応等の対応力向上訓練の継続
 - ・事故・自然災害・テロ等を想定した反復訓練
- ③ 外部教育機関の活用
 - ・外部教育による知識・技能の向上
 - ・業務に必要な資格取得の推進
 - ・自己研鑽および資格取得支援制度の活用促進

(3) 鉄道施設・車両の保守・管理の徹底

- ・年間計画に基づく確実な維持管理と設備改善の実施
- ・データに基づく保守管理の高度化(再発防止・情報共有)
- ・JR および請負会社等との情報交換・連携強化

(4) さらなる安全性向上の追求

- ・運転保安向上に向けた取り組みの推進
- ・新車導入に伴う課題整理と受入体制の整備
- ・データ分析に基づく設備改善の検討
- ・獣害(鹿)対策の効果検証と更なる対策の検討

(5) 労働災害防止意識の向上

- ・安全対策委員会での情報共有と対策の「見える化」推進
- ・触車事故防止要領の徹底と再教育の実施
- ・安全作業マニュアルの整備・更新
- ・安全衛生委員会の確実な運営と本社との連携強化

Ⅲ. 2025年度 運転事故等の発生状況

1. 鉄道運転事故

- (1) 令和7年4月13日、岩滝口～与謝野駅間 烏山トンネル内で、鉄道人身障害事故が発生しました。
- (2) 令和7年9月8日、丹後神崎～丹後由良駅間 由良川橋りょう上で、鉄道人身障害事故が発生しました。
- (3) 令和7年9月28日、福知山市民病院口駅構内で、鉄道人身障害事故が発生しました。

2. 輸送障害(旅客列車の30分以上の遅延・運休)

48件発生しました。うち、自然災害等による事象は20件、鉄道外の原因(JR線内遅れに伴う遅発等)による事象が14件、人的要素が原因となる事象が5件、設備関連故障の部内の原因となる事象が9件発生しました。ご利用のお客様はじめ、沿線の皆様には大変ご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げます。

3. インシデント

令和7年8月14日、西舞鶴～四所駅間 新川踏切において、遮断機制御部の故障により遮断かんが降下しない事象が発生しました。この事象による踏切通行者等との接触等はありませんでしたが、遅延3本(最大遅延11分)が発生しました。

4. 行政指導等

行政指導等はありません。

Ⅳ. 2025年度「安全確保の取り組み」

令和7年度はハード面の対策を実施し設備の新設・更新をしました。また、ソフト面においては、下記4項目を中心に取り組みました。

- (1) 安全意識・感度の更なる向上
- (2) 知識・技能の向上
- (3) 鉄道施設・車両の確実な保守・管理の徹底
- (4) 労働災害防止の意識の向上

1. ハード面の取り組み状況

国、行政、自治体からの支援等による設備の更新、並びに確実な検査・修繕を行い安全性の向上に努めました。

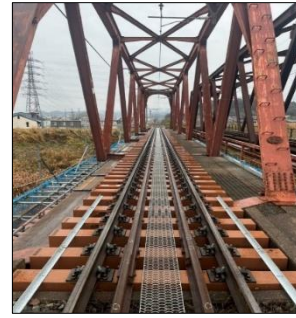
[設備投資]

設 備	項 目	具 体 的 実 施 内 容
線路設備	PC マクラギ化	宮津線 西舞鶴～四所・網野～夕日ヶ浦木津温泉～小天橋 コウノトリの郷～豊岡間 合計 1,069本
	合成橋マクラギ化	宮津線 由里橋りょう・竹が鼻橋りょう・油江橋りょう・稲荷橋りょう・境目谷橋りょう ・城ヶ谷橋りょう・栗田架道橋・中村橋りょう・高畑橋りょう・巫女川橋りょう・獺師橋りょう ・中屋橋りょう・如願寺川橋りょう・霞谷橋りょう・宮川橋りょう・東川橋りょう・谷川橋りょう ・米川橋りょう 宮福線 第二和久川橋りょう 合計 19橋りょう 264本
	踏切道改良	平田踏切（小天橋構内） 1踏切
	道床砕石化	宮津～天橋立間 27k450.5m～27k499.5m 49.0m 峰山～網野間 48k962.4m～48k993.1m 30.7m 小天橋～かぶと山間 67k090.3m～67k104.9m 14.6m 67k174.5m～67k229.9m 55.4m 合計 149.7m
	鉄桁ペイント塗装(フッ素塗装)	宮津線 由良川橋りょう（丹後神崎～丹後由良間） 1橋りょう
	橋りょうコンクリート補強	宮津線 第一奥橋りょう(網野～夕日ヶ浦木津温泉間) 上陰架道橋・豊岡橋りょう(コウノトリの郷～豊岡間) 宮福線 辛皮橋りょう(辛皮～大江山口内宮間) 合計 4橋りょう
	トンネル改良(セントル)	宮津線 楠弥寺トンネル(西舞鶴～四所間) 馬路トンネル(久美浜～コウノトリの郷間) 合計 2トンネル
	トンネル改良(覆工補強)	宮福線 内宮トンネル(大江山口内宮～二俣間) 二俣トンネル・金屋トンネル(二俣～大江高校前間) 下天津トンネル(下天津～牧間) 合計 4トンネル
	排水設備改良	<排水こう新設> 40k013m～40k027m(与謝野～京丹後大宮間) 47k770m～47k863m・47k772m～47k859m(京丹後大宮～峰山間) 51k649m～51k687m・51k696.5m～51k772.5m(峰山～網野間) <排水桝新設> 51k685m・51k719m・51k757m(峰山～網野間)
	踏切道改良(1種化)	宮津線 上油江踏切（東雲～丹後神崎間） 1踏切
	レール交換	宮津～天橋立間 27k367.0m～28k109.5m 742.5m 小天橋～かぶと山間 67k024.0m～67k215.1m 191.1m 合計933.6m
	ホーム扛上	夕日ヶ浦木津温泉駅・豊岡駅 合計 2駅
信号保安設備	連動装置(H・AC 軌道回路装置更新)	宮津線 宮津駅・天橋立駅 合計 2駅
	継電連動装置更新	宮津線 網野駅・久美浜駅 合計 2駅
	踏切保安設備 (警報機・蓄電池の更新)	宮津線 四所～京丹後大宮間(警報機9組、蓄電池52個)
	遠方信号機更新	宮津線 網野駅・久美浜駅 合計 2駅
	踏切改良(1種化)	宮津線 上油江踏切（東雲～丹後神崎間） 1踏切
	通信ケーブル更新	宮津線 与謝野～網野間 15,600m
電路設備	電柱(コンクリート柱化)	宮津線 四所～コウノトリの郷間 電灯木柱のコンクリート柱化 26本
	電気融雪器用絶縁変圧器更新	宮津線 四所～豊岡間 25台
車 両	車両設備	ワンマン車両8両 新型運賃箱設置 16台

施工前

施工後

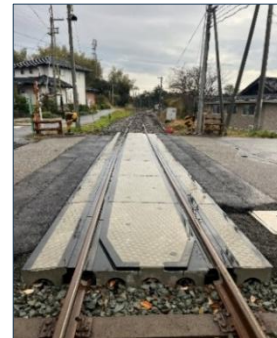
○合成橋マクラギ化 <第二和久川橋りょう>



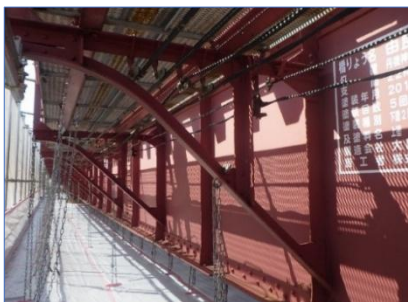
○OPC マクラギ化 <西舞鶴～四所間>



○踏切道改良 <小天橋構内 平田踏切>



○橋りょう塗装(フッ素塗装) <由良川橋りょう>



○橋りょうコンクリート補強(剥落対策) <コウノトリの郷～豊岡間 上陰架道橋>



施工前

施工後

○トンネル補強 <西舞鶴～四所間 楠祢寺トンネル>



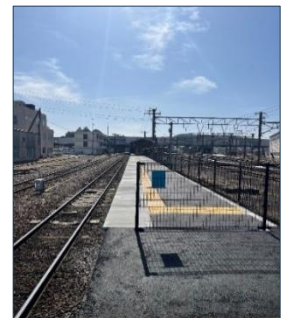
○排水溝新設工事 <与謝野～京丹後大宮間>



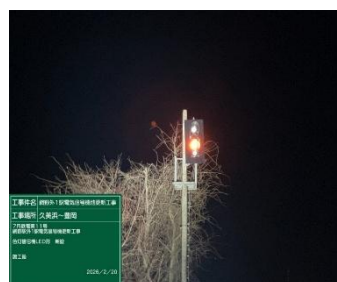
○排水溝新設工事 <峰山～網野間>



○ホーム扛上 <夕日ヶ浦木津温泉駅・豊岡駅>



○遠方信号機更新 <久美浜駅>



2. 運転の安全を前進させる取り組み状況

(1) 第4種・第3種踏切に対する安全性向上の取り組み

令和5年4月10日に発生した下由里踏切障害事故を受けて、京都府、沿線市町、北近畿タンゴ鉄道株式、WILLER TRAINS 株式会社等が連携し、「京都丹鉄道 踏切対策協議会」を約3か月ごとに開催しています。この協議会では第4種踏切や第3種踏切の第1種化(安全性向上の為に改良)や廃止に向けた議論が進められています。

令和7年度の成果としては、第3種踏切1箇所を第1種踏切に格上げし、地域住民や鉄道利用者の安全性向上を図りました。この取り組みを引き続き進め、交通事故防止や安全な鉄道運行を目指した改善を継続していきます。

踏切名	閉鎖日	廃止日	第1種踏切使用開始日
上油江踏切(舞鶴市)			令和8年3月19日



施工前



施工後

(2) 第4種踏切安全通行支援システムに関する取り組み

独立行政法人自動車技術総合機構 交通安全環境研究所 交通システム研究部と連携した第4種踏切における安全性向上を目的とした安全通行支援システムの試験とその概要について

背景: 第4種踏切では警報機や遮断機が設置されていない為、列車と通行者の接触事故のリスクが高い。

目的: 第4種踏切の廃止または第1種踏切化が進むまでの暫定的な対策として、同システムの導入を目的とした試験を実施した。

① 第4種踏切安全通行支援システムの特徴

- ・双方向無線通信の活用 / 列車接近を通行者に報知、装置の故障を列車運転士に通知
- ・低コストでの実現 / 従来の踏切保安装置よりも経済的負担が軽い設計

② これまでの試験概要

◆通信実験 / 令和5年7月18日～20日

- ・場所 / 峰山～網野間
- ・内容 / 車上・地上間の双方向無線通信機能の有効性を確認
- ・成果 / 通行者への列車接近の報知方法を検討、列車運転士への通知方法を検討、視覚による報知方法のプロトタイプを製作

◆動作確認試験 / 令和7年1月28日～31日

- ・場所 / 丹後由良～栗田間 第三小寺踏切
- ・内容 / 報知・通知方法を組み込んだ第4種踏切支援装置の動作確認試験、機能校正を行い、実用化に向けた検証を進める

③ 令和7年度の試験概要

◆長期実証実験 / 令和7年9月19日～令和8年度末 予定

- ・場所 / 丹後由良～栗田間 第三小寺踏切
- ・内容 / KTR708 に車上装置を搭載し、長期にわたり試験を実施している



(3) 災害支障対策として夜間に運転速度を落とす実証実験

列車が鹿などの動物と衝突する事象への対策として、最高速度 65km/h 以下の R300 の連続区間および動物との衝突件数が多い区間を 3 箇所指定し、19:00 以降に運行する全ての列車に対して最高速度 45km/h 以下で運転する実証実験を実施しました。この取り組みにより、動物との衝突件数の削減を目指し、以下のとおりデータ収集を行いました。

① 実験期間 令和7年3月15日～令和8年3月13日

② 区 間

区 間	キ ロ 程	区間長		所定の 65km/h 以下での運転を、45km/h 以下に速度を制限した場合の増延時間
丹後由良駅～栗田駅間 (権太山トンネル～国道高架下)	16k831m～ 19k000m	2k169m		下り:1 分 30 秒増延 上り:1 分 15 秒増延
与謝野駅～京丹後大宮駅間 (三戸谷橋りょう～第一高砂踏切)	37k446m～ 40k995m	3k549m		下り:1 分 45 秒増延 上り:2 分 00 秒増延
網野駅～夕日ヶ浦木津駅間 (雪覆い～第二岡田踏切)	58k133m～ 59k940m	1k807m		下り:2 分 30 秒増延 上り:2 分 30 秒増延

③ 対象列車 19:00以降に上記区間を運転する最終列車までの上り8本、下り8本

④ 運転時分 1区間最大で2分30秒の遅運転が発生

⑤ 実 績

区 間	件 数			
	実証実験前		実証実験後	
	令和5年度	1 カ月当たり	令和7年度	1 カ月当たり
丹後由良駅～栗田駅間	28件	2.3件	20件	1.6件
与謝野駅～京丹後大宮駅間	47件	3.9件	26件	2.1件
網野駅～夕日ヶ浦木津温泉駅間	19件	1.5件	13件	1.1件

※令和6年9月から実証実験を行っている為、年間比較は前年度(令和5年度)で比較した。

3. 運転の安全確保

(1) 令和7年度雪害対応

今年は3回強い寒波が襲来し、1/21(水)～1/25(日)、1/29(木)～1/31(土)、2/7(土)～2/11(水)にわたり計画運転休止を実施しました。公共交通としての使命を果たす思いから、社員一丸となり万全の態勢で、安全確保(モーターカーロータリー車による除雪及び、ホーム、ポイント除雪、倒竹木の処理)に取り組みました。

計画運休は、運行中の列車が大雪や土砂崩れで駅間に立ち往生し、お客様の安全確保が危ぶまれる(救出に時間を要する)事態が想定される場合に実施する為、ご理解をお願いいたします。



- (2) 安全確保に向けた啓発活動(踏切事故防止キャンペーン)
 踏切事故防止キャンペーン期間中の令和7年11月6日に
 中ノ町踏切で、事故防止の啓発活動を行いました。



4. 安全確保の推奨事例

- 運転無事故優良職場表彰式 令和7年11月14日
 令和7年度上期の無事故優良職場の表彰式を行いました。
 今回は宮津管理駅・工務部の2箇所が受賞しました。



○社内表彰

社会的功績があり、会社や社員の名誉となった時、又は業務上有益な創意工夫、改善、開発等を行い、会社に貢献した社員。事故、災害等を未然に防ぎ、又は異常に際し適切に対応し、被害を最小限にとどめるなど、特に功労のあった社員に対して表彰を行いました。

社長表彰



令和7年4月13日、近畿運輸局の運転関係従事員表彰の受賞に伴い、社長表彰を行いました。

チーム表彰



令和8年1月14日、第二荒山踏切で走行中に踏切故障を発見し、事故の発生を未然に防止しました。

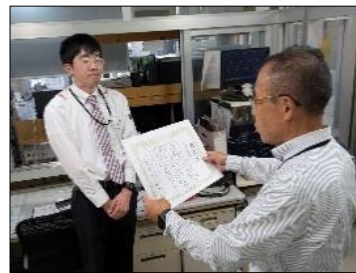


令和7年12月30日、慢性的に発生する除湿装置エア漏れ事象を無くす為、部内で QC グループを結成し、新たな保守方法を確立した。その結果、不具合をゼロにすることができた(令和8年5月時点)。

本部長表彰



令和7年4月13日、鉄道人身障害事故の発生において、事故対応に尽力しました。



令和7年5月1日、インバウンドを含む多くのお客様に喜んでいただく為、使用済証明書書を駅ごとに自らデザインし、会社の PR に貢献しました。



令和7年9月6日、天橋立駅で入換作業中、異進路構成を発見し、転てつ器割り出しを未然に防止しました。



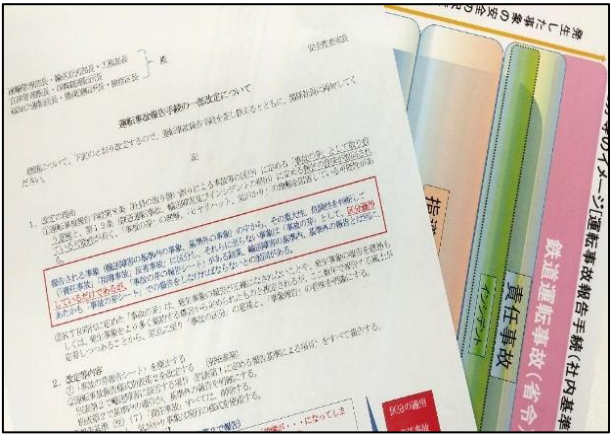
令和7年7月3日、エンジン変速機の吊りボルト落失及び折損を発見し、事故の発生を未然に防止しました。

5. ソフト面の取り組み状況

(1)安全文化の構築

① 報告の重要性の浸透と正確な報告の徹底

- ・報告することの定着化が深度化されていますが、更なる正確性をもって報告できるように推進しました。さらに、報告を全系統にメール等で配信、共有し、迅速な対応ができるように努めています。
- ・ヒヤリハット、気がかり事象については報告しやすい工夫と、ヒヤリハット、気がかり事象の報告で、リスク予知、安全意識の向上につながることを取組を継続しています。



② 発生事象の共有化と対策の検討周知

- ・安全対策委員会が形骸化することなく、過去の対策も検証しつつ、過去対策の確認と愚直に継続ができるように努めています。

(2)安全意識の向上

○安全方針、行動規範及び各系統の禁止事項を記載したカードを作成、社員一人ひとりに配布、常に携帯するとともに、本社や現場事務所に掲出し、点呼等で唱和、知悉度テストで確認するなど、安全意識の向上に努めています。

携帯カード

安全方針

私たちは自分・仲間を尊重し、乗客の安全を最優先するとともに、さらなる安全性の向上を目指し、継続的な改善に努めます。安全で安心な乗車を提供し、お客様に笑顔のサービスを提供します。

行動規範

1. 一歩一歩、安全の文化の醸成に努めます。
2. 乗客の安全に脅かされることなく、安全な乗車を提供し、お客様に笑顔のサービスを提供します。
3. 常に乗客の安全に脅かされることなく、安全な乗車を提供し、お客様に笑顔のサービスを提供します。
4. 乗客の安全に脅かされることなく、安全な乗車を提供し、お客様に笑顔のサービスを提供します。
5. 乗客の安全に脅かされることなく、安全な乗車を提供し、お客様に笑顔のサービスを提供します。
6. 乗客の安全に脅かされることなく、安全な乗車を提供し、お客様に笑顔のサービスを提供します。
7. 乗客の安全に脅かされることなく、安全な乗車を提供し、お客様に笑顔のサービスを提供します。

安全方針・行動規範

安全方針

私たちは自分・仲間を尊重し、乗客の安全を最優先するとともに、さらなる安全性の向上を目指し、継続的な改善に努めます。安全で安心な乗車を提供し、お客様に笑顔のサービスを提供します。

行動規範

- (1) 乗客の安全に脅かされることなく、安全な乗車を提供し、お客様に笑顔のサービスを提供します。
- (2) 乗客の安全に脅かされることなく、安全な乗車を提供し、お客様に笑顔のサービスを提供します。
- (3) 乗客の安全に脅かされることなく、安全な乗車を提供し、お客様に笑顔のサービスを提供します。
- (4) 乗客の安全に脅かされることなく、安全な乗車を提供し、お客様に笑顔のサービスを提供します。
- (5) 乗客の安全に脅かされることなく、安全な乗車を提供し、お客様に笑顔のサービスを提供します。
- (6) 乗客の安全に脅かされることなく、安全な乗車を提供し、お客様に笑顔のサービスを提供します。
- (7) 乗客の安全に脅かされることなく、安全な乗車を提供し、お客様に笑顔のサービスを提供します。

○本社、現場とのコミュニケーションとして「安全の日(毎月14日)に本社幹部社員による職場巡回・意見交換等を継続し、安全管理等の把握に努めています。

[主な取組内容]

「安全の日」看板掲出

安全の日

京都丹後鉄道

- ・本社幹部と現場社員の意見交換会
- ・列車添乗、現場巡回、作業立会
- ・本社、現場の情報の共有化等
- ・職場の環境整備、整理整頓、点検等

「安全の日」の開催について

安全文化の醸成と、乗客の安全を最優先するとともに、さらなる安全性の向上を目指し、継続的な改善に努めます。安全で安心な乗車を提供し、お客様に笑顔のサービスを提供します。

1. 「安全の日」の開催目的

安全文化の醸成と、乗客の安全を最優先するとともに、さらなる安全性の向上を目指し、継続的な改善に努めます。安全で安心な乗車を提供し、お客様に笑顔のサービスを提供します。

2. 「安全の日」の開催日時

安全文化の醸成と、乗客の安全を最優先するとともに、さらなる安全性の向上を目指し、継続的な改善に努めます。安全で安心な乗車を提供し、お客様に笑顔のサービスを提供します。

3. 「安全の日」の開催場所

安全文化の醸成と、乗客の安全を最優先するとともに、さらなる安全性の向上を目指し、継続的な改善に努めます。安全で安心な乗車を提供し、お客様に笑顔のサービスを提供します。

4. 実施時間

安全文化の醸成と、乗客の安全を最優先するとともに、さらなる安全性の向上を目指し、継続的な改善に努めます。安全で安心な乗車を提供し、お客様に笑顔のサービスを提供します。

○夏期事故防止強化運動期間・年末年始輸送安全総点検期間には、経営トップと安全統括責任者による現場巡回を実施し、社員への訓示及び意見交換を行っています。



(3) 運転関係係員の知識・技能の向上

○定期的な訓練・勉強会の充実と確実な実施

各系統において年間の教育計画を策定し、計画的に勉強会等を実施し知識・技能の向上、技術継承に努めるほか、部外の教育機関等も活用し教育の充実に努めています。

運転関係社員の運転保安に関する
教育及び訓練実施要領

平成27年7月1日 策定

京都丹後鉄道
WILLER TRAINS

2025年度 社内研修計画表					
研修項目	研修内容	研修日時	研修場所	研修対象	研修実施状況
4.1	運転業務の安全確保に関する研修	4月1日	本社	運転士	完了
4.2	運転業務の安全確保に関する研修	4月15日	本社	運転士	完了
4.3	運転業務の安全確保に関する研修	4月30日	本社	運転士	完了
4.4	運転業務の安全確保に関する研修	5月15日	本社	運転士	完了
4.5	運転業務の安全確保に関する研修	5月30日	本社	運転士	完了
4.6	運転業務の安全確保に関する研修	6月15日	本社	運転士	完了
4.7	運転業務の安全確保に関する研修	6月30日	本社	運転士	完了
4.8	運転業務の安全確保に関する研修	7月15日	本社	運転士	完了
4.9	運転業務の安全確保に関する研修	7月30日	本社	運転士	完了
4.10	運転業務の安全確保に関する研修	8月15日	本社	運転士	完了
4.11	運転業務の安全確保に関する研修	8月30日	本社	運転士	完了
4.12	運転業務の安全確保に関する研修	9月15日	本社	運転士	完了
4.13	運転業務の安全確保に関する研修	9月30日	本社	運転士	完了
4.14	運転業務の安全確保に関する研修	10月15日	本社	運転士	完了
4.15	運転業務の安全確保に関する研修	10月30日	本社	運転士	完了
4.16	運転業務の安全確保に関する研修	11月15日	本社	運転士	完了
4.17	運転業務の安全確保に関する研修	11月30日	本社	運転士	完了
4.18	運転業務の安全確保に関する研修	12月15日	本社	運転士	完了
4.19	運転業務の安全確保に関する研修	12月30日	本社	運転士	完了
4.20	運転業務の安全確保に関する研修	1月15日	本社	運転士	完了
4.21	運転業務の安全確保に関する研修	1月30日	本社	運転士	完了
4.22	運転業務の安全確保に関する研修	2月15日	本社	運転士	完了
4.23	運転業務の安全確保に関する研修	2月30日	本社	運転士	完了
4.24	運転業務の安全確保に関する研修	3月15日	本社	運転士	完了
4.25	運転業務の安全確保に関する研修	3月30日	本社	運転士	完了
4.26	運転業務の安全確保に関する研修	4月15日	本社	運転士	完了
4.27	運転業務の安全確保に関する研修	4月30日	本社	運転士	完了
4.28	運転業務の安全確保に関する研修	5月15日	本社	運転士	完了
4.29	運転業務の安全確保に関する研修	5月30日	本社	運転士	完了
4.30	運転業務の安全確保に関する研修	6月15日	本社	運転士	完了
4.31	運転業務の安全確保に関する研修	6月30日	本社	運転士	完了

令和7年度 教育計画表

研修項目	研修内容	研修日時	研修場所	研修対象	研修実施状況
1.1	運転業務の安全確保に関する研修	1月1日	本社	運転士	完了
1.2	運転業務の安全確保に関する研修	1月15日	本社	運転士	完了
1.3	運転業務の安全確保に関する研修	1月30日	本社	運転士	完了
1.4	運転業務の安全確保に関する研修	2月15日	本社	運転士	完了
1.5	運転業務の安全確保に関する研修	2月30日	本社	運転士	完了
1.6	運転業務の安全確保に関する研修	3月15日	本社	運転士	完了
1.7	運転業務の安全確保に関する研修	3月30日	本社	運転士	完了
1.8	運転業務の安全確保に関する研修	4月15日	本社	運転士	完了
1.9	運転業務の安全確保に関する研修	4月30日	本社	運転士	完了
1.10	運転業務の安全確保に関する研修	5月15日	本社	運転士	完了
1.11	運転業務の安全確保に関する研修	5月30日	本社	運転士	完了
1.12	運転業務の安全確保に関する研修	6月15日	本社	運転士	完了
1.13	運転業務の安全確保に関する研修	6月30日	本社	運転士	完了
1.14	運転業務の安全確保に関する研修	7月15日	本社	運転士	完了
1.15	運転業務の安全確保に関する研修	7月30日	本社	運転士	完了
1.16	運転業務の安全確保に関する研修	8月15日	本社	運転士	完了
1.17	運転業務の安全確保に関する研修	8月30日	本社	運転士	完了
1.18	運転業務の安全確保に関する研修	9月15日	本社	運転士	完了
1.19	運転業務の安全確保に関する研修	9月30日	本社	運転士	完了
1.20	運転業務の安全確保に関する研修	10月15日	本社	運転士	完了
1.21	運転業務の安全確保に関する研修	10月30日	本社	運転士	完了
1.22	運転業務の安全確保に関する研修	11月15日	本社	運転士	完了
1.23	運転業務の安全確保に関する研修	11月30日	本社	運転士	完了
1.24	運転業務の安全確保に関する研修	12月15日	本社	運転士	完了
1.25	運転業務の安全確保に関する研修	12月30日	本社	運転士	完了
1.26	運転業務の安全確保に関する研修	1月15日	本社	運転士	完了
1.27	運転業務の安全確保に関する研修	1月30日	本社	運転士	完了
1.28	運転業務の安全確保に関する研修	2月15日	本社	運転士	完了
1.29	運転業務の安全確保に関する研修	2月30日	本社	運転士	完了
1.30	運転業務の安全確保に関する研修	3月15日	本社	運転士	完了
1.31	運転業務の安全確保に関する研修	3月30日	本社	運転士	完了

R7年度後援区 教育・研修計画表

R7年度後援区 教育・研修計画表															WILLER TRAINS株式会社 2025年度 教育・研修計画表	
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
1.1																
1.2																
1.3																
1.4																
1.5																
1.6																
1.7																
1.8																
1.9																
1.10																
1.11																
1.12																
1.13																
1.14																
1.15																
1.16																
1.17																
1.18																
1.19																
1.20																
1.21																
1.22																
1.23																
1.24																
1.25																
1.26																
1.27																
1.28																
1.29																
1.30																
1.31																
1.32																
1.33																
1.34																
1.35																
1.36																
1.37																
1.38																
1.39																
1.40																
1.41																
1.42																
1.43																
1.44																
1.45																
1.46																
1.47																
1.48																
1.49																
1.50																
1.51																
1.52																
1.53																
1.54																
1.55																
1.56																
1.57																
1.58																
1.59																
1.60																
1.61																
1.62																
1.63																
1.64																
1.65																
1.66																
1.67																
1.68																
1.69																
1.70																
1.71																
1.72																
1.73																
1.74																
1.75																
1.76																
1.77																
1.78																
1.79																
1.80																
1.81																
1.82																
1.83																
1.84																
1.85																
1.86																
1.87																
1.88																
1.89																
1.90																
1.91																
1.92																
1.93																
1.94																
1.95																
1.96																
1.97																
1.98																
1.99																
1.100																

(4) 主な社員教育・訓練

法律や省令等に定める訓練等のほか、各系統における勉強会等を実施し知識・技能の向上、技術継承に努めました。さらなる充実、工夫に努めてまいります。

【管理職】【運転関係従事員】

○ヒューマンファクター研修 令和8年2月17日・18日 教育人員 44名

静岡英和学院大学短期大学部 重森教授をお招きし、心理学の側面からどのようなヒューマンエラー防止の取り組みができるかを学びました。



【駅係員】

- ① 列車取扱訓練(分併作業訓練、解放テコ扱い、代用手信号の取扱)
- ② 災害時の取扱勉強会・各種工事の取扱・ダイヤの理解・除雪教育(触車事故防止要領等)
- ③ 知悉度テスト等

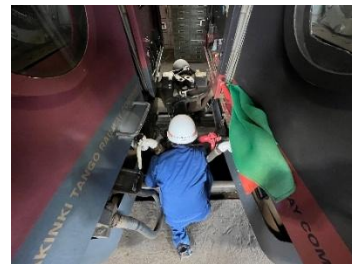
○駅運転係員養成(天橋立駅入換訓練) 令和7年9月～11月 教育人員 4名



○駅連動訓練(天橋立駅) 令和7年9月23日 教育人員 15名



○気動車基礎教育・車両分併訓練 令和7年11月6日・10日 教育人員 17名



○冬期除雪教育 令和7年12月1日～4日 教育人員 32名



【運転士・車掌】

- ① 年間12時間以上
- ② 運転士訓練(異常時の取扱、鉄道人身事故対処方、気象異常時の取扱、知悉度テスト等)
- ③ 車掌訓練(異常時の取扱、鉄道人身事故対処方、サービス機器異常時の取扱、知悉度テスト)

【検修関係】

- ① 触車事故防止要領、MF・KTR車全般検査・要部検査教育実習、知悉度テスト等
- ② 操車担当、信号担当に対して「入換に関する規程等」教育、知悉度テスト実施

【工務関係】

- ① 全作業員への教育:年1回4時間以上
- ② 運転関係規程、災害警備マニュアル、触車事故防止、列車防護線路災害等の応急復旧、安全作業、知悉度テスト等
- ③ 新任社員教育(運転関係規程、災害時等の運転規制、ダイヤの勉強、触車事故防止要領、列車防護、知悉度テスト、線路閉鎖工事、トロリー使用、保守用車取扱等)
- ④ 感電事故防止、除雪作業等教育

○一般軌道狂い検査教育 令和7年8月12日・13日 教育人員 1名



○トングレール・転てつ棒交換教育 令和7年9月18日 教育人員 1名



○モーターカーロータリー取扱訓練 令和7年11月12日 教育人数 22名



○応急処置器取扱訓練 令和7年12月23日 教育人数 9名



○トラックマスター教育 令和8年2月4日 教育人数 12名



○列車防護訓練 令和8年3月24日 教育人数 18名



(5) 異常時対応訓練等の実施

各現場の異常時対応能力の向上を目的とした異常時訓練は、駅指令員については実設訓練で実施。また検修・工務系統においても経験の浅い社員を対象に応急復旧訓練をおこなっています。今後とも、各系統において技術力向上のために工夫をした訓練の実施を継続します。一方、本社が主体となり、系統をまたがる訓練、警察・消防等と連携した緊急時対応訓練を実施しました。

○エレベーター閉じ込め救出訓練 令和7年5月28日・29日 参加者 22名



○福知山駅合同消防訓練 令和7年9月24日 参加者 WILLER TRAINS 4名

福知山駅構内において、JR 西日本、WILLER TRAINS 他5団体約30名による火災を想定した防災訓練が実施されました。



○鉄道事故合同訓練

踏切内で列車と自動車が発生し、お客様に負傷者が出ているという想定で、訓練を実施しました。当日は消防・警察と連携し、迅速な負傷されたお客様の救出活動、現場対応の確認、線路設備の早期復旧に向けた対応手順を確認しました。本訓練を通じて、関係機関との連絡体制及び緊急時の対応力の向上を図りました。

① 実施日 令和7年10月23日 10:00～12:00

② 実施場所 与謝野駅構内

③ 訓練目的 ・人命救助の向上 ・事故の被害を最小限に抑える ・関係機関の連携強化 ・技術と知識の向上
・事故防止の意識向上 ・緊急時対応計画の検証と改善

④ 参加者 宮津与謝野消防本部 23名 宮津警察署 10名 与謝野町役場 3名
北近畿タンゴ鉄道 2名 WILLER TRAINS 27名



(6)人材の育成(採用・部外教育・資格者育成)

○事業継続を支える新規・中途採用

全国的に採用状況が厳しい中、安定的な事業継続のために積極的な新規・中途採用等を行いました。

系 統	運輸系統 (駅・車掌・運転士)	車両	工務	他	合計	記事
令和7年度採用人員	13	0	2	5	20	R6年度:10名採用

○WILLER グループ入社式 令和7年4月1日 / 丹鉄辞令交付式 令和7年4月3日



○新入社員研修

4月1日～4月22日の約3週間、本社で社会人としてのマナーや鉄道の基礎知識を学び、その後、配属先で其々の専門知識を学び、実践的な研修へ移行しました。



○接遇向上研修 令和7年7月23日・24日、11月11日・12日 教育人数 25名 駅員、乗務員の接遇向上の為、外部講師を招いて研修を実施しました。



○令和7年度上期入社員フォローアップ研修 令和7年10月27日・11月6日

入社後半年を経て、感じた疑問や意見などを同期社員や先輩社員と議論し、意見交換を行いました。今後の業務の糧として吸収し、この半年を振り返ることができました。また、課題を与えたグループワーク等では、久々に顔を合わせる社員にとって、良い交流の機会となりました。



○部外教育機関の積極的な活用

各系統において若手社員、経験の浅い社員並びに中堅社員に対する教育について、部外の専門的な教育を受講することで知識・技能の向上を図っています。

項 目		安全管理系統		運輸系統	施設系統		電気系統	車両系統	計
令和6年度	受講講座数	対面	web						
		4	6	5	4		4	0	23
	受講人員	16	45	10	9		4	0	84
令和7年度	受講講座数	対面	web		対面	web			
		3	9	3	4	3	1	6	29
	受講人員	57	42	8	6	6	1	18	138

○資格者の育成

継続的かつ安定的に業務を遂行していくために、各系統においては業務に必要な資格取得を継続するとともに、世代交代に向けて運転士養成等を行いました。

項 目	運転士(DC)	運転士(EC)	車 掌	指令員	信号係員	計
令和6年度	1	0	2	0	0	3
令和7年度	2	2	4	0	0	8

※その他資格者教育

・小型移動式クレーン講習 1名 ・床上式操作クレーン講習 2名 ・玉掛講習 1名

【乗務員養成】

○車掌養成教育

・令和7年5月・6月・10月(3回実施) 教育人員 4名



○ODC運転士養成教育

・令和7年6月～11月 教育人員 2名



○EC運転士養成教育

・令和7年12月～養成中(令和8年5月現在) 教育人員 2名

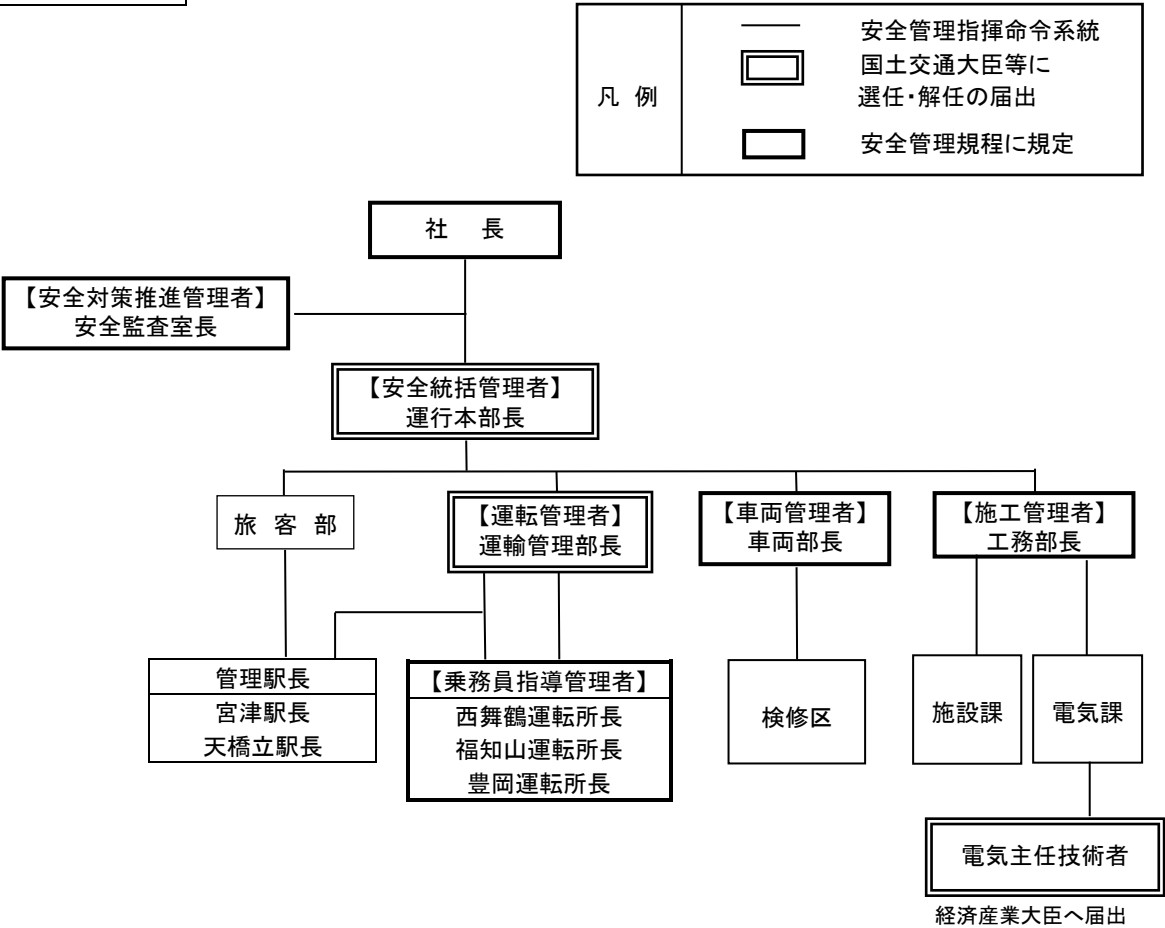
V. 安全管理体制整備等、安全の取り組み

1. 安全管理体制

○安全管理規程を制定し、社長をトップとする安全管理体制を構築しています。安全統括管理者、運転管理者、車両管理者、施工管理者、乗務員指導管理者を選任し、その責務を明確にしています。

役 職	役 割
社 長	輸送の安全の確保に関する最終責任を負う。
安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括管理する。
運転管理者	安全統括管理者の指揮のもと、列車の運行管理、乗務員の育成及び資質の維持その他運転に関する業務を管理する。
乗務員指導管理者	運転管理者の指揮のもと、乗務員の資質の維持を管理する。
施工管理者	安全統括管理者の指揮のもと、鉄道施設を維持管理するため、施設業務を管理する。
車両管理者	安全統括管理者の指揮のもと、車両を維持管理するため、車両業務を管理する。
安全対策推進管理者	事故防止に関する事項、輸送の安全の確保に必要な設備投資、人事、財務に関する事項を統括する。

安 全 管 理 体 制 図



社 長

【安全対策推進管理者】
安全監査室長

【安全統括管理者】
運行本部長

旅 客 部

【運転管理者】
運輸管理部長

【車両管理者】
車両部長

【施工管理者】
工務部長

管理駅長
宮津駅長
天橋立駅長

【乗務員指導管理者】
西舞鶴運転所長
福知山運転所長
豊岡運転所長

検修区

施設課

電気課

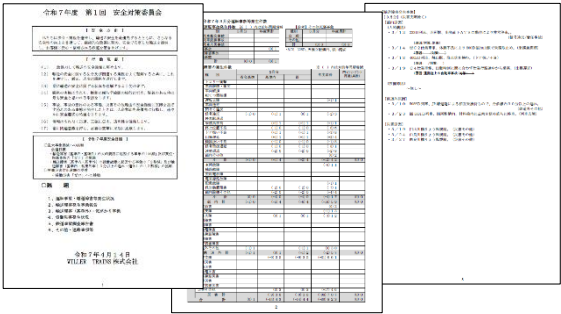
電気主任技術者

経済産業大臣へ届出

2. 安全に関する会議等

○安全対策委員会[毎月第3木曜日開催(年3回の現場開催は「安全の日開催」)
安全統括管理者を委員長として、各系統の責任者・現場長等が出席し、安全・輸送に関するデータをもとに、鉄道運
転事故等の未然防止策、再発防止策等の安全対策について意見交換、情報の共有化等を図っています。

- ・出席者 社長、本社内各部長・関係課長、各現場長
- ・議 題 運転事故等発生件数、発生内容
発生事象の原因究明・対策の水平展開等
「事故の芽」等その他事象の水平展開等
労働災害発生状況
運輸局等事故情報の水平展開(事例研究)

The image shows three overlapping documents from the Safety Committee Meeting. The top document is the agenda for the 1st meeting of the FY2025 Safety Committee, held on April 14th. It lists topics such as the review of the FY2024 safety management plan, the status of safety measures, and the review of the FY2025 safety management plan. The middle document is a table showing the status of safety measures for various systems, including the JR West Tokaido Line, JR West San'yō Line, and JR West Toei Line. The bottom document is a table showing the status of safety measures for various systems, including the JR West Tokaido Line, JR West San'yō Line, and JR West Toei Line.

○安全対策会議[令和7年4月14日開催]
社長自らマネジメントレビューを実施し、安全管理規程に定める安全統括管理者、運転管理者、車両管理者、施工管
理者、乗務員指導管理者、電気主任技術者等により、運転並びに労働災害事故の防止について協議し、更なる安全性
の向上に努めています。

- ・開催日 毎年1回
- ・出席者 社長以下安全管理規程に定める管理者及び各現場長
- ・議 題 前年度の輸送に関する目標・取り組み状況
前年度安全管理体制に係わる内部監査結果等の確認
次年度の目標・重点実施施策の決定等

The image shows three overlapping documents from the Safety Management Meeting. The top document is the agenda for the FY2025 Safety Management Meeting, held on April 14th. It lists topics such as the review of the FY2024 safety management plan, the status of safety measures, and the review of the FY2025 safety management plan. The middle document is a table showing the status of safety measures for various systems, including the JR West Tokaido Line, JR West San'yō Line, and JR West Toei Line. The bottom document is a table showing the status of safety measures for various systems, including the JR West Tokaido Line, JR West San'yō Line, and JR West Toei Line.

○他会社(JR、協力会社等)の事故防止会議・合同会議等への参加
事故防止、安全対策等の情報の共有化等で連携を図り事故防止に努めています。

[安全] JR 西日本金沢支社 金沢車両区・WILLER TRAINS 安全監査室 獣害対策視察
開 催 日 令和7年12月1日
開催場所 JR 西日本金沢支社 金沢車両区 敦賀支所
内 容 車載型忌避装置の視察及び獣害対策についての意見交換



[車両] KTR8000形 JR 西日本福知山列車区合同勉強会
開 催 日 令和7年5月13日
開催場所 WILLER TRAINS 西舞鶴運転所
訓練内容 床下機器類の取り扱いについて、習熟度向上を図った

[電気] JR西日本近畿統括本部福知山電気技術センター・WILLER TRAINS 電気関係 合同事故防止会議
開催日 令和7年10月24日開催
議題等
①作業・事故時における連絡体制
②事故事例検討(力・信・通)
③協定等の一覧について
④保全・工事における会社間情報提供



○安全評価外部委員会

鉄道輸送や設備管理等について、安全対策の更なる充実のため、鉄道安全分野において高い技術力や見識を有する外部専門家により、ご指導・ご助言をいただく安全評価外部委員会は、今年度は下記のとおり開催しました。

(1)委員会メンバーの方々

- | | | |
|-------|----------------------------|---------|
| ① 委員長 | 東京工科大学 教授 | 須田教授 |
| ② 委員 | 静岡英和学院大学短期大学部 教授 | 重森教授 |
| | 京都大学名誉教授 防災研究所元所長 | 中川名誉教授 |
| | 株式会社京三製作所上席特別顧問 首席安全性評価監理官 | 水間工学博士 |
| | 鉄道総合研究所車両制御技術研究部 | 福田上席研究員 |

(2)令和7年度 第20回 安全評価外部委員会

- ① 開催日 令和6年10月3日
- ② 開催方法 対面会議
- ③ 概要
 - ・令和7年度運転事故等の発生状況(上期)
 - ・普甲トンネルの変状について
 - ・西舞鶴・四所間 新川踏切 遮断かん降下不良事象について
 - ・車両修繕の現状について
 - ・KTR8500形の変速機吊りボルト折損事象について

(3)令和7年度 第21回 安全評価外部委員会

- ① 開催日 令和8年4月9日 ※スケジュールの関係で4月開催
- ② 開催方法 対面又はWeb 会議
- ③ 概要
 - ・令和7年度運転事故等の発生状況(年間)
 - ・宮津線プラットフォーム扛上について
 - ・京丹後大宮・峰山間 第二荒山踏切保安装置故障について
 - ・車両修繕の現状について

3. 内部監査

○安全管理体制の構築・改善における取組の適合性及び安全管理体制の有効性の確認を行うことにより、安全管理体制上の課題や問題点を見出すことを目的に、内部監査員が経営トップ、安全統括管理者及び各部門別(本社経営管理部・現業実施部門)に監査を実施しています。

(1)内部監査の流れ

監査計画・監査チェックシート等作成 ⇒ 周知・配布・回答 ⇒ 現場・本社で監査実施(インタビュー、資料確認等) ⇒ 部門別監査結果作成 ⇒ 各部門別報告書等送付 ⇒ 安全対策会議に付議・報告。

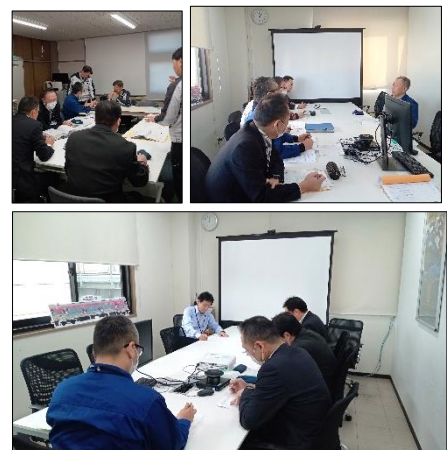
監査結果は是正・改善に努めるため、翌年度の重点実施施策への反映や監査の実施方改善に活かすほか、月実施の「安全対策委員会」等を活用し確認するとともに、翌年度の監査においても確認し改善に努めています。

(2)監査項目

- ①安全方針・行動規範の周知・実施状況の確認
- ②安全重点施策の実施状況の確認
- ③教育訓練・研修計画などの確認
- ④法令等の遵守状況(未然防止のための予防措置の状況確認)
- ⑤情報伝達・コミュニケーションの確保
- ⑥事故・ヒヤリハット情報の収集及び活用
- ⑦規程・帳票類、運転関係用品の整備の確認
- ⑧過去の事故に対する対策の実施状況

(3)監査日時

令和7年12月5日～令和8年3月19日の間で実施しました。



4. 気がかり事象報告からの対策事例

○運転事故防止

気がかり事象：辛皮駅のワンマンミラーが汚れており、後部確認がしづらい。
⇒(対策)令和8年1月27日 ワンマンミラーを清掃しました。

対処前



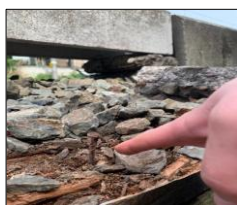
対処後



○労働災害防止

気がかり事象：福知山運転所昇降台 U 字工支えの枕木が腐食し、釘がむき出している。
⇒(対策)令和8年3月27日 腐食した枕木を撤去し木材で固定した。

施工前



施工後



5. お客様・沿線の皆さま・関係機関との連携等

○地元こども園の園児による花壇の植栽【与謝野駅】

地元こども園の園児が与謝野駅の花壇にチューリップの球根を植え、その横に好きな花や名前の書いたプレートを其々立てて頂きました。また、春の花が咲く頃には見学に来て頂いています。

・令和7年4月18日 参加人員 のだがわ第二こども園 44名、WILLER TRAINS 3名



○与謝野駅100周年イベント

7月12日に与謝野町主催による「与謝野駅100周年イベント」が開催され、当日は公募で選ばれた宮津線100周年ロゴマークを使用したヘッドマークの取り付け式も行われました。



○丹鉄モニュメントベンチ受け渡し式典【天橋立駅】

12月12日に京都府立峰山高等学校機械創造科の生徒の皆さんが駅ホーム用ベンチを製作してくださり、天橋立駅で完成披露及び受け渡し式典を執り行いました。

・令和7年12月12日 参加人員 峰山高等学校 10名 WILLER TRAINS 4名



○天橋立文珠地区一斉清掃【天橋立駅】

毎年4月下旬に文珠自治会による一斉清掃が行われます。今年も天橋立駅に関する丹鉄、丹後海陸交通、観光協会、地元ホテル等がお客さんを気持ち良くお迎えする為に駅周辺の清掃を行いました。



○駅清掃(夏季・冬季)

通常の清掃とは別に年2回、お盆と年末年始の繁忙期の前に、駅社員が中心となり全駅の大掃除を行いました。



○「鉄道関係近畿運輸局長表彰」受賞

令和7年10月15日令和7年度鉄道関係近畿運輸局長表彰式において、弊社運転士が20年以上の長きにわたり、無事故無違反で鉄道関係事業に貢献した功績が評価され、「鉄道・軌道及び索道の運転関係従事員表彰」を受賞しました。



安全報告書へのご意見の募集

安全報告書の内容や弊社の取り組みについて、下記までご意見をお寄せください。

ご連絡先 本社 安全監査室 電話 0772-22-8571

FAX 0772-25-2380

メールアドレス otoiawase@willer.co.jp

受付時間 月～金 9:00～18:00(祝日を除く)